

2011春 医師・看護師・介護職員増やせ！夜勤改善で安心・安全の医療・介護を！



# ナース・介護ウエーブ

広島県医労連：〒732-0827 広島市南区稻荷町 5-5 松田ビル 201号 / fax 082-262-1586

2011.5/16.No.9

## 2011年春のナースウエーブに93人



♥15組織・マスコミは4社（中国・毎日・朝日・赤旗）♥

5月14日、広島YMCAコパソソールで、2011年春のナースウエーブが行われました。

司会は広島市民病院の濱さん、開会あいさつを八幡直美執行委員長が行い、その後、労働科学研究所・慢性疲労研究センター長の佐々木司先生から「夜勤労働の有害性とその規制」について、科学的データに基づいた話をいただきました。

♥16時間夜勤は日本だけ！法整備を運動で♥

学習会では、日本では長時間夜勤が増えているが「16時間夜勤」というのは日本だけで、外国にはそのコトはずらない。長時間夜勤は酩酊状態と同じで、医療事故を起こすリスクも高くなり、また夜勤明けでの交通事故率も高く、ホルモンバランスの乱れをおこし、生理不順や乳がんのリスクも高くなるという事でした。また、3交替制では、逆循環よりも正循環の方が準夜勤務で睡眠調整ができ、体にも睡眠衛生的にもいい。夜勤の有害性を少なくするには、まずは業務整理をし、人員配置や夜勤労働の法整備が必要だと話をされました。参加者は、科学的データと軽快なギャグを交えた先生の話に、楽しくわかりやすかったと感想を寄せていました。

学習会終了後は、白衣のパレード！首にはピンクのタオルを、手にはピンクのハート風船を手に、本通りアーケード街を講師の佐々木先生にもご参加いただき「夜勤を減らし、命を守ろう」と元気よくパレードしました。

♥学習会後は、「東日本大震災支援と夜勤改善で安全・安心の医療を」訴え、街に♥

パレード終結地点本通り入口での署名行動では、衆議院議員、橋本博明氏（民主党議員）と広島県会議員、辻恒雄氏（共産党）の来援を受け、宣伝カーより被災地支援や医療政策を訴えていただきました。また、市民病院の仲間が今の医療現場の実態と署名への協力を訴え、わずかな時間にも関わらず、夜勤改善署名を812筆集約しました。

♥街頭署名は、40分で812筆♥

パレード終結地点本通り入口での署名行動では、衆議院議員、橋本博明氏（民主党議員）と広島県会議員、辻恒雄氏（共産党）の来援を受け、宣伝カーより被災地支援や医療政策を訴えていただきました。また、市民病院の仲間が今の医療現場の実態と署名への協力を訴え、わずかな時間にも関わらず、夜勤改善署名を812筆集約しました。



～佐々木先生の講演の感想～

\*睡眠の大切さを感じました。夜勤になると1番強い眠気が来る午前2~4時も起きていないといけなため自分の睡眠時間の確保を大切にしていきたいです。（20代看護師）

\*とてもわかりやすかったです。私は新人でまだ夜勤が始まっていないので、不安になってしまった。（20代新人看護師）

\*楽しい講演でした。夜勤明けでしたが眠くなることなく興味深く聞けました。（20代看護師）

\*夜勤の有害性をいろんな面より検証されわかりやすい講演でした。入院患者がいる中で夜勤をしないわけにはいかないの、少しでも害がなく仕事を続けられるような環境を作ることが大切だと思いました。（30代看護師）

\*夜勤があるのは介護職も同じで、今2交替です。2012年の介護報酬改定では介護職の医療行為が法制化されようとしています。介護の職場にも今日の話を広げていきます。（40代介護士）



署名総数は22,851筆へ

# 広島

## 生もみじ

### ★にしき堂



繁華街を行進する参加者—中区本通で

労働条件改善を  
県医労連が訴え  
中区でパレード  
医療従事者の増員、  
労働条件改善などを訴  
える県医労連の「白衣  
のパレード」が14日、  
中区本通などであっ  
た。県内の看護師ら約  
90人が白衣姿で繁華街  
を歩き、「増員で夜勤  
を減らそう」「長時間  
勤務をなくそう」など

と呼びかけた。  
パレード後には、夜  
勤の勤務時間や勤務間  
隔などの労働条件の改  
善や、医療・社会保障  
予算の増額による安心  
・安全な医療制度の実  
現などを国に求める署  
名活動をした。25日に  
国会に提出する。  
県医労連の八幡直美  
・執行委員長は「国民  
の命を守るという意味  
で、医師や看護師を増

やしてほしい」。署名  
した東区の無職、大前  
昌枝さん(78)は「勤務  
しすぎでは頭が働かな  
い。看護師さんを増や  
すことは命の問題だ」  
と話していた。

【星大樹】

【中国新聞、2011,5,15】

## 中国新聞

### 労働条件改善 看護師ら訴え

市中心部でデモ

県内の看護師や診療  
放射線技師など約90人  
が14日、労働条件改善  
のための法整備などを  
求めて広島市中心部を  
デモ行進した。  
白衣姿の看護師たち  
は「無理な夜勤や長時

間勤務を減らして命を  
守ろう」と呼び掛けな  
がら中区の本通り商店  
街など約1キロを歩き、  
買い物客にチラシを配  
った。勤務時間や勤務  
間隔を規制する法整備  
を国に求める署名活動  
もした。

デモは県医労連(約  
5千人)が主催した。  
八幡直美委員長は「過  
密労働で仕事を辞める  
看護師は後を絶たな  
い。働く人の健康と医  
療・看護の安全性を守  
るため国は早急に対処  
してほしい」と話して  
いた。